

ブランド化するため、町や商工会にも協力を仰ぎ、町全体を巻き込んで一つの町おこし活動になった。そのために、ロゴマークの策定や積極的なメディア露出、鶴岡市のアルケッチャーノの奥田シェフなど有名シェフとのコラボイベントなど、様々な企業や団体と連携を行ってきた。その結果、ファンが県内のみならず県外でも増加しており、河北町に町外から実際に来る方も増えている。

## 2. コロナ禍において組合が取り組んだ事業について

取引の中心だった飲食店が休業したことで野菜が売れなくなったため、販売を小売に転換した。

プロの方だけでなく一般の方にも手に取っていただけるように通販サイト「イタ研ショップ」を開設した他、産直やスーパーなどでの販売を拡充し、かほくイタリア野菜ファンクラブを発足した。

また、コロナ禍の中の大変な中でも頑張っているレストランを応援するため、野菜の無料提供も行っている。

## 3. 令和2年7月豪雨の影響

河北町としての被害は甚大であり、また当組合も夏場の出荷のメインである2人の組合員の圃場が完全に水没し、旬を迎えたナス科の野菜カプリスなどが水を被り出荷出来なくなるなど、大きな被害を受けた。

しかし、ここまで支えてきていただいた全国のかほくファンの方々から支援を受け、再起への一歩を踏み出している。アンテナショップなどで水に浸かった野菜の販売を行ったり、応援のメッセージや動画を頂いたり、義援金を頂いたり、奥田シェフより主催したイタリア野菜を使ったオンライン料理教室の収益を寄付していただいたりと、河北町が好きなファンの皆さんに支えられている。

## 4. 今後の課題

今回のような豪雨がまた襲って来ても甚大な被害が出ないように、水没に強い作物への転換、圃場の分散など、災害に強い農業を目指していく。

また、河北町で家庭で美味しいイタリア野菜が食べられることを目指し足元を固める活動を活発にしていく。町おこし活動の一環でもあるこの活動を続けるためにも、若手農家を新たに取り入れる必要もあり、魅力を感じる付加価値農業を目指していく。

## 山形県スーパーTOTALサポ補助金活用事例



渡會 俊仁 社長

### 株式会社渡會本店

発表者: 渡會 俊仁 代表取締役社長

#### 組織概要

所 在	鶴岡市大山二丁目2-8
代 表 者	代表取締役社長 渡會 俊仁
従業員数	14名 (内冬期間季節雇用者5名)